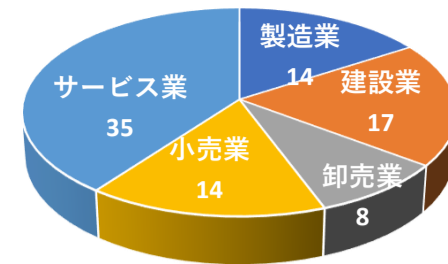


弘前商工会議所企業景況調査結果【令和6年4月～6月期】

1 調査対象・・・・・・・・・・ 弘前商工会議所会員企業

2 調査対象期間・・・・・・・・・・ 令和6年4月～6月期

3 調査方法及び回答方法・・・・ 当所7月会報に折込発送、FAX並びに回答フォームにて回答



4 回答企業の内訳・・・・・・・・・・

業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
回答数(件)	14	17	8	14	35	88
構成比	16%	19%	9%	16%	40%	100%

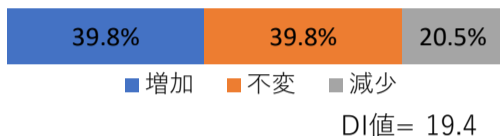
5 業況について・・・・・・・・・・

※DI値(景況判断指数)について $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを含みます。

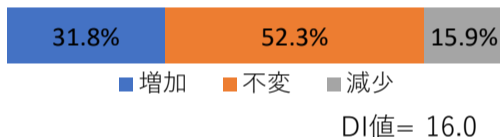
○「売上額」について

・4月～6月の「売上額」実績は、昨年同期と比較して
<全業種>

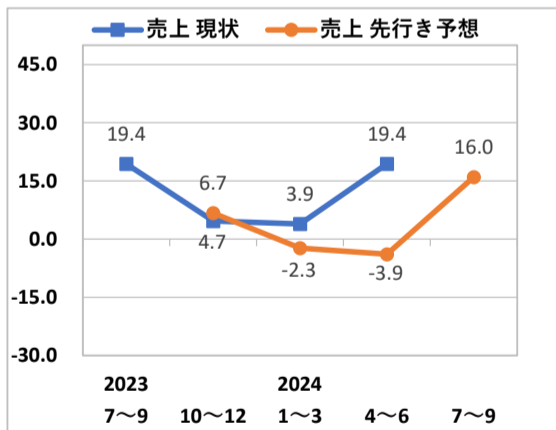


業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	42.9%	21.4%	35.7%	7.1
建設業	23.5%	64.7%	11.8%	11.8
卸売業	50.0%	12.5%	37.5%	12.5
小売業	42.9%	21.4%	35.7%	7.1
サービス業	42.9%	48.6%	8.6%	34.3

・7月～9月の「売上額」予想は、昨年同期と比較して
<全業種>



業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	35.7%	42.9%	21.4%	14.3
建設業	23.5%	64.7%	11.8%	11.8
卸売業	25.0%	25.0%	50.0%	-25.0
小売業	42.9%	50.0%	7.1%	35.7
サービス業	31.4%	57.1%	11.4%	20.0



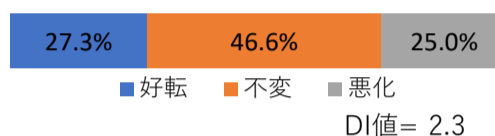
◇DI(前年同期比)が前回調査(1～3月期:3.9)より15.5ポイント拡大して19.4となりました。

◇先行き(7～9月期)の予想については、前回調査(4～6月期:▲3.9)より19.9ポイント回復して16.0ポイントとなりました。

○多くの業種で売上が増加と回答が上回る
今期の売上額について、建設業以外の業種で約4割が増加と回答しました。要因としては、ゴールデンウィークや桜祭りの影響が挙げられます。

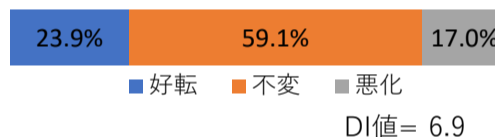
○「採算(純利益)」について

・4月～6月の「採算」実績は、昨年同期と比較して
<全業種>

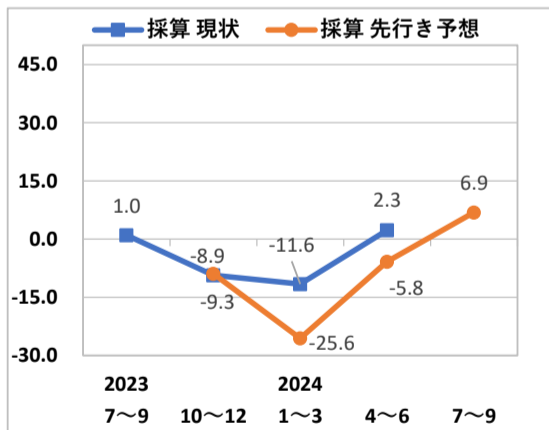


業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	28.6%	21.4%	50.0%	-21.4
建設業	35.3%	47.1%	17.6%	17.6
卸売業	25.0%	37.5%	37.5%	-12.5
小売業	30.8%	46.2%	23.1%	7.7
サービス業	22.9%	60.0%	17.1%	5.7

・7月～9月の「採算」予想は、昨年同期と比較して
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	21.4%	50.0%	28.6%	-7.1
建設業	35.3%	52.9%	11.8%	23.5
卸売業	12.5%	62.5%	25.0%	-12.5
小売業	42.9%	50.0%	7.1%	35.7
サービス業	14.3%	68.6%	17.1%	-2.9



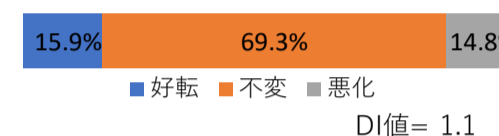
◇DI(前年同期比)が前回調査(1～3月期:▲11.6)より13.9ポイント回復して2.3となりました。

◇先行き(7～9月期)の予想については、前回調査(4～6月期:▲5.8)より12.7ポイント回復して6.9となりました。

○DI値グラフでは採算(純利益)は回復傾向
採算(純利益)について、製造業、卸売業は悪化と回答した企業が好転を上回っていますが、全体で見ると、DI値グラフでは、今期・来期ともに回復傾向になりました。要因については、今期は桜祭り、来期は祭り等のイベントが挙げられます。

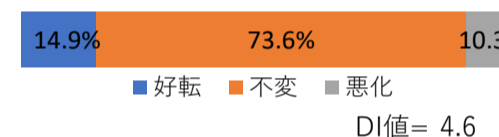
○「資金繰り」について

・4月～6月の「資金繰り」実績は、昨年同期と比較して
<全業種>

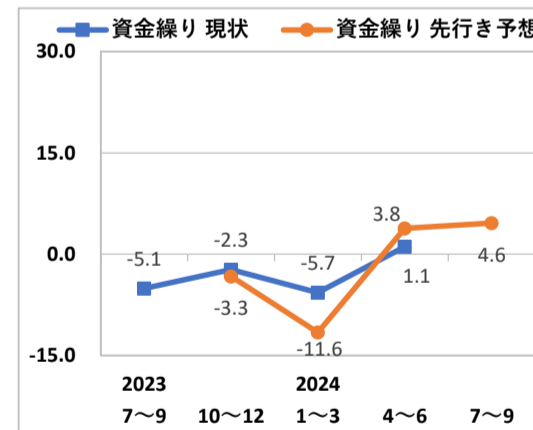


業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	7.1%	71.4%	21.4%	-14.3
建設業	5.9%	94.1%	0.0%	5.9
卸売業	25.0%	62.5%	12.5%	12.5
小売業	21.4%	57.1%	21.4%	0.0
サービス業	20.0%	62.9%	17.1%	2.9

・7月～9月の「資金繰り」予想は、昨年同期と比較して
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	78.6%	21.4%	-21.4
建設業	6.3%	93.8%	0.0%	6.3
卸売業	28.6%	57.1%	14.3%	14.3
小売業	35.7%	64.3%	0.0%	35.7
サービス業	14.3%	71.4%	14.3%	0.0



◇DI(前年同期比)が前回調査(1～3月期:▲5.7)より6.8ポイント回復して1.1となりました。

◇先行き(7～9月期)の予想については、前回調査(4～6月期:3.8)より0.8ポイント拡大して4.6となりました。

○今期の5割以上企業の資金繰りが不変
今期の資金繰りにおいて、今期の従業員について、不変と回答した企業は製造業は71.4%、建設業は94.1%、卸売業は62.5%、小売業は57.1%、サービス業は62.9%となりました。

○「仕入単価」について

・4月～6月の「仕入単価」実績は、去年同期と比較して
<全業種>



DI値= 71.3

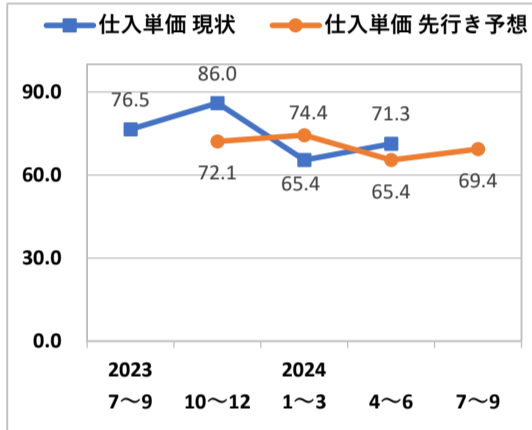
業種	上昇	不変	低下	DI値
製造業	92.9%	7.1%	0.0%	92.9
建設業	81.3%	18.8%	0.0%	81.3
卸売業	85.7%	14.3%	0.0%	85.7
小売業	78.6%	21.4%	0.0%	78.6
サービス業	58.8%	38.2%	2.9%	66.6

・7月～9月の「仕入単価」予想は、去年同期と比較して
<全業種>



DI値= 69.3

業種	上昇	不変	低下	DI値
製造業	85.7%	14.3%	0.0%	85.7
建設業	82.4%	17.6%	0.0%	82.4
卸売業	87.5%	12.5%	0.0%	87.5
小売業	61.5%	38.5%	0.0%	61.5
サービス業	57.1%	42.9%	0.0%	57.1



◇DI（前年同期比）が前回調査（1～3月期：65.4）より5.9ポイント拡大して71.3となりました。

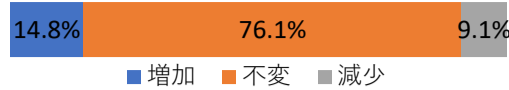
◇先行き（7～9月期）の予想については、前回調査（1～3月期：65.4）より4.5ポイント減少して69.4となりました。

○約半数以上が今期の仕入単価が増加

今期の仕入単価について、引き続き仕入価格が高止まりしている状況です。来期も多くの企業が増加と回答しており、物価の安定については先行き不透明な状態です。

○「製品・商品在庫」について

・4月～6月の「製品・商品在庫」実績は去年同期と比較して
<全業種>



DI値= 5.7

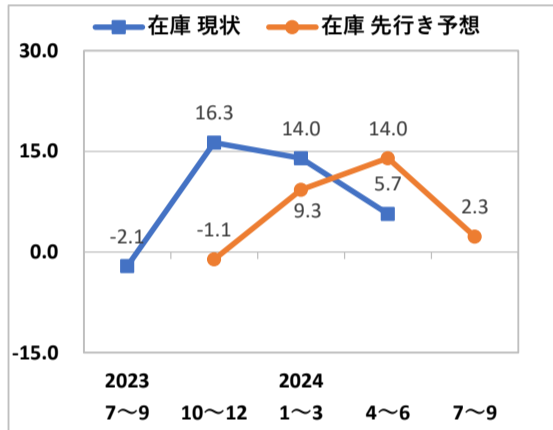
業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	21.4%	64.3%	14.3%	7.1
建設業	11.8%	76.5%	11.8%	0.0
卸売業	37.5%	37.5%	25.0%	12.5
小売業	14.3%	78.6%	7.1%	7.1
サービス業	8.6%	88.6%	2.9%	5.7

・7月～9月の「製品・商品在庫」予想は、去年同期と比較して
<全業種>



DI値= 2.3

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	14.3%	71.4%	14.3%	0.0
建設業	6.3%	81.3%	12.5%	-6.3
卸売業	37.5%	37.5%	25.0%	12.5
小売業	28.6%	71.4%	0.0%	28.6
サービス業	2.9%	88.6%	8.6%	-5.7



◇DI（前年同期比）が前回調査（1～3月期：14.0）より8.3ポイント減少して5.7となりました。

◇先行き（7～9月期）の予想については、前回調査（4～6月期：14.0）より11.7ポイント拡大して2.3となりました。

○DI値グラフでは製品・商品在庫は減少傾向

製品・商品在庫において、今期・来期とも多くの企業で不変と回答しましたが、DI値を見ると前期から減少傾向となりました。

○「従業員数」について

・4月～6月の「従業員数」実績は、去年同期と比較して
<全業種>



DI値= 1.1

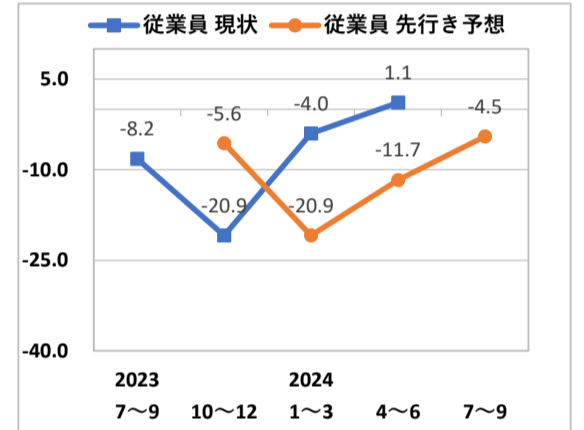
業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	21.4%	64.3%	14.3%	7.1
建設業	17.6%	64.7%	17.6%	0.0
卸売業	25.0%	62.5%	12.5%	12.5
小売業	21.4%	57.1%	21.4%	0.0
サービス業	11.4%	74.3%	14.3%	-2.9

・7月～9月の「従業員数」予想は、去年同期と比較して
<全業種>



DI値= -4.5

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	7.1%	78.6%	14.3%	-7.1
建設業	23.5%	47.1%	29.4%	-5.9
卸売業	14.3%	71.4%	14.3%	0.0
小売業	28.6%	50.0%	21.4%	7.1
サービス業	2.9%	85.7%	11.4%	-8.6



◇DI（前年同期比）が前回調査（1～3月期：▲4.0）より5.1ポイント回復して1.1となりました。

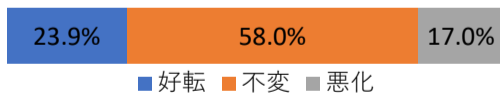
◇先行き（7～9月期）の予想については、前回調査（4～6月期：▲11.7）より7.2ポイントマイナス幅が縮小して▲4.5となりました。

○今期の5割以上企業の従業員数が不変

今期の従業員について、不変と回答した企業は製造業は64.3%、建設業は64.7%、卸売業は62.5%、小売業は57.1%、サービス業は74.3%となりました。

○「自社景況」について

・4月～6月の業況（貴社）実績は、去年同期と比較して
<全業種>



DI値= 6.9

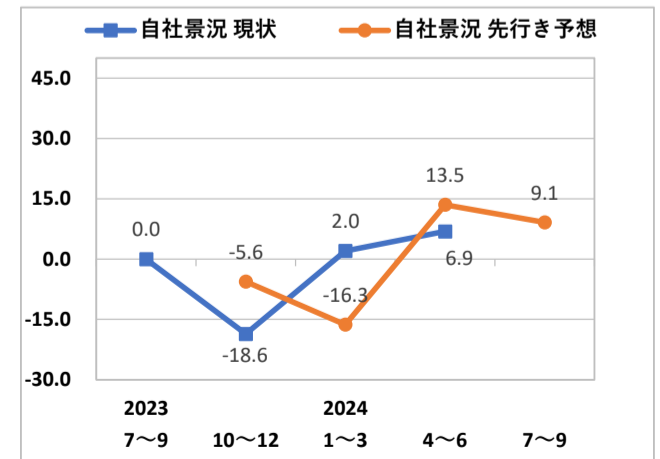
業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	14.3%	35.7%	50.0%	-35.7
建設業	31.3%	62.5%	6.3%	25.0
卸売業	12.5%	62.5%	25.0%	-12.5
小売業	28.6%	57.1%	14.3%	14.3
サービス業	25.7%	65.7%	8.6%	17.1

・7月～9月の業況（貴社）予想は去年同期と比較して
<全業種>



DI値= 9.1

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	28.6%	42.9%	28.6%	0.0
建設業	29.4%	64.7%	5.9%	23.5
卸売業	0.0%	62.5%	37.5%	-37.5
小売業	28.6%	64.3%	7.1%	21.4
サービス業	22.9%	65.7%	11.4%	11.4



◇DI（前年同期比）が前回調査（1～3月期：2.0）より4.9ポイント拡大して6.9となりました。

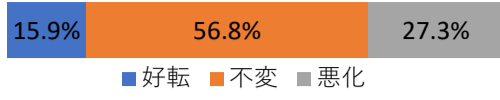
◇先行き（7～9月期）の予想については、前回調査（4～6月期：13.5）より4.4ポイント減少して9.1となりました。

○製造業、卸売業は悪化が好転を上回る

自社景況について、悪化と回答した企業は、製造業では50%、卸売業では25%となりました。要因としては、仕入や光熱費、輸送費の高騰が挙げられます。

○「業界景況」について

・4月～6月の「業界景況」実績は、去年同期と比較して
<全業種>



DI値= -11.4

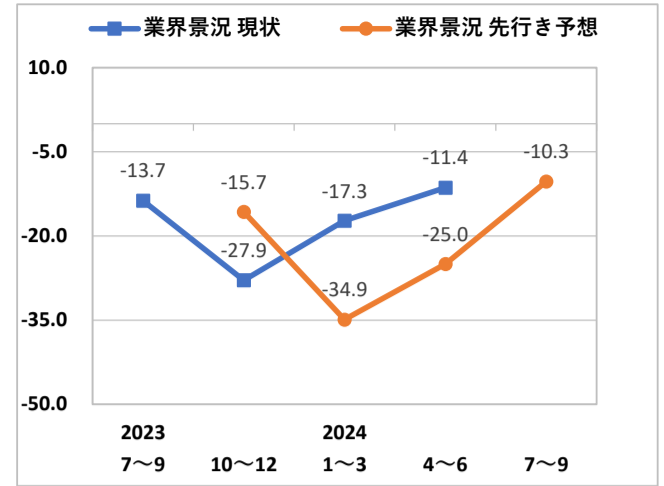
業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	7.1%	71.4%	21.4%	-14.3
建設業	17.6%	58.8%	23.5%	-5.9
卸売業	12.5%	50.0%	37.5%	-25.0
小売業	21.4%	35.7%	42.9%	-21.4
サービス業	17.1%	60.0%	22.9%	-5.7

・7月～9月の「業界景況」予想は、去年同期と比較して
<全業種>



DI値= -10.3

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	7.1%	78.6%	14.3%	-7.1
建設業	17.6%	52.9%	29.4%	-11.8
卸売業	12.5%	50.0%	37.5%	-25.0
小売業	21.4%	50.0%	28.6%	-7.1
サービス業	20.0%	51.4%	28.6%	-8.6



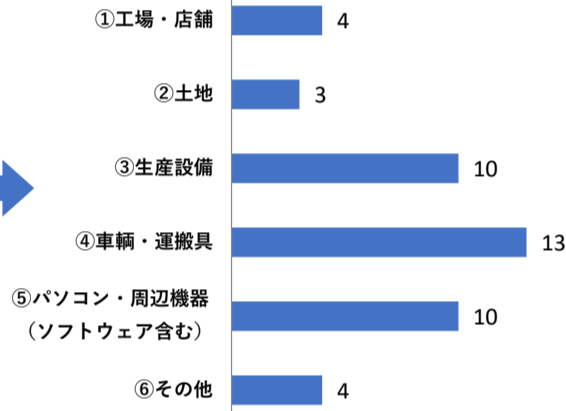
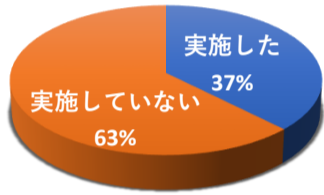
◇DI (前年同期比) が前回調査 (1～3月期: ▲17.3) マイナス幅が5.9ポイント縮小して▲11.4となりました。
◇先行き (7～9月期) の予想については、前回調査 (4～6月期: ▲25.0) よりマイナス幅が14.7ポイント縮小して▲10.3となりました。

○今期・来期ともに悪化が好転を上回る

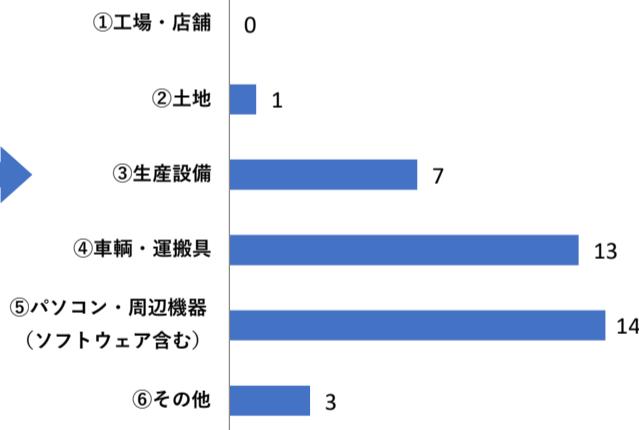
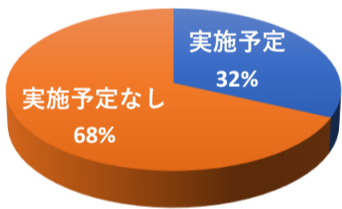
業界景況について、悪化が好転を上回る状況でしたが、DI値グラフでは今期・来期ともに回復傾向にある状況でした。

○設備投資の実施状況及びその内容について ※複数回答

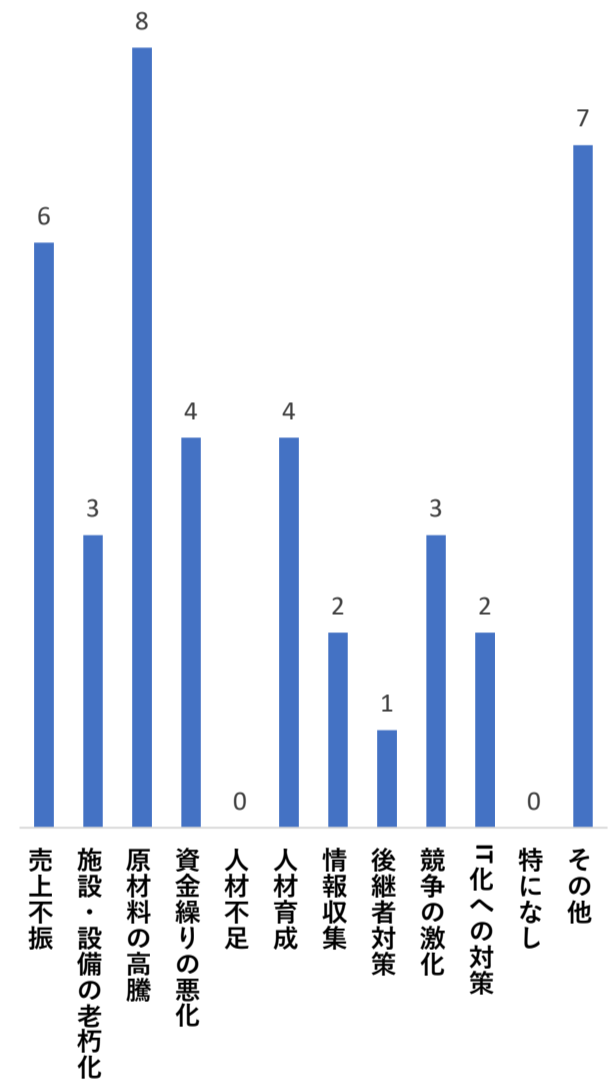
・4月～6月の設備投資について



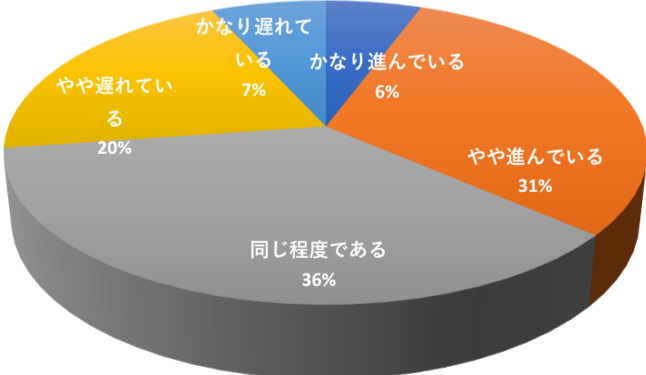
・7月～9月の設備投資の見通しについて



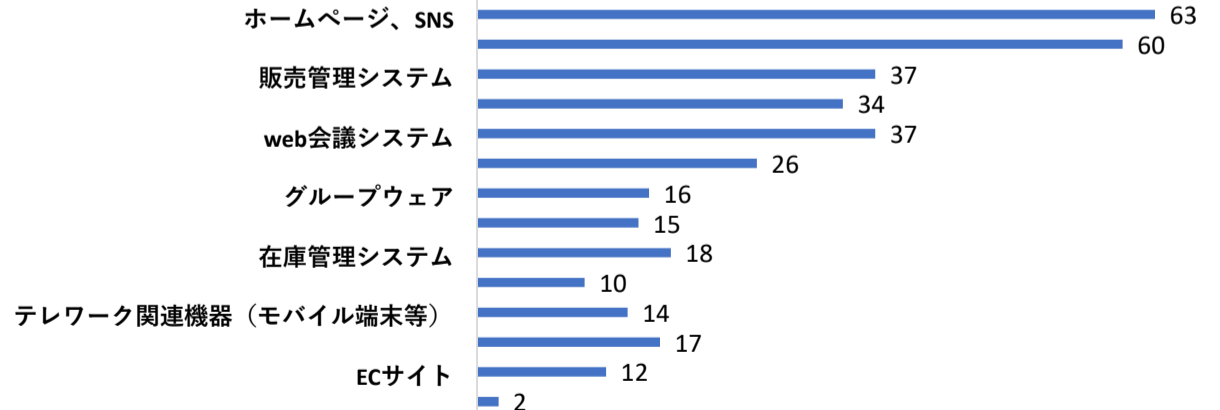
○経営上の課題について (業種別) ※複数回答



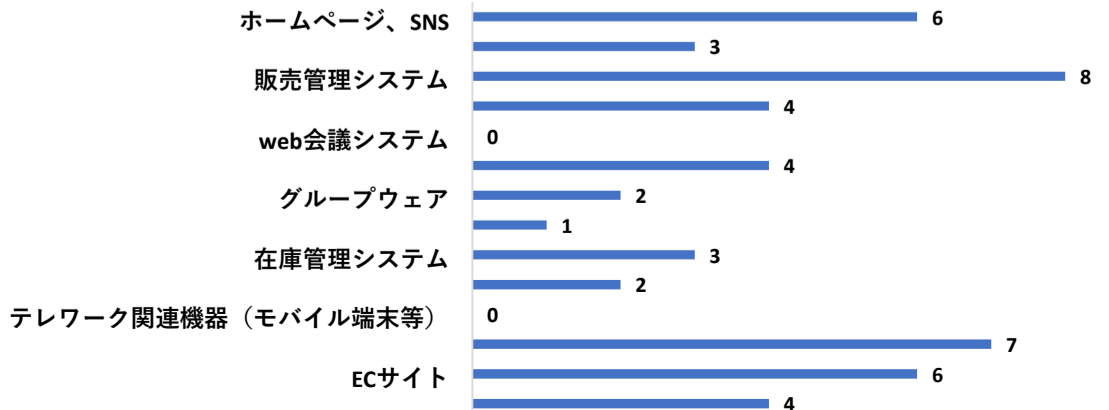
○デジタル化の進捗状況について



○導入しているデジタルツール

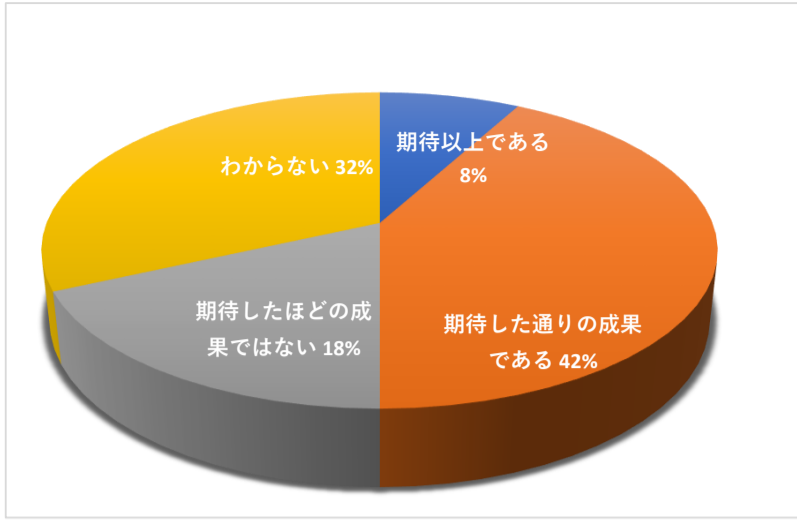


○導入予定のデジタルツール

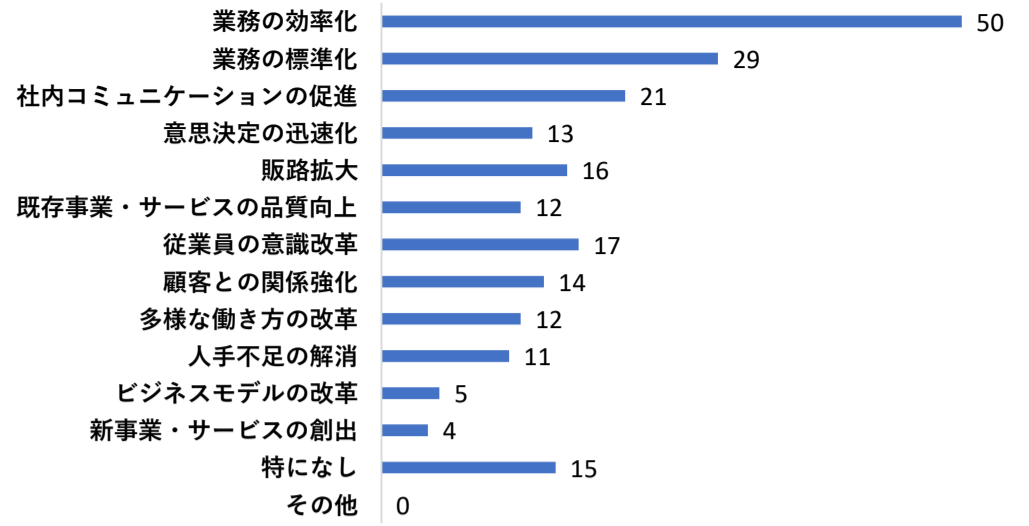


○「ホームページ、SNS」、「会計システム」が多く
の企業で導入されている。
導入しているデジタルツールについて、「ホームページ、SNS」の回答が最も多い63件、「会計システム」が
60件の回答でした。
導入予定のデジタルツールは「販売管理システム」が
最も多い8件、「電子契約システム」が7件の回答になり
ました。

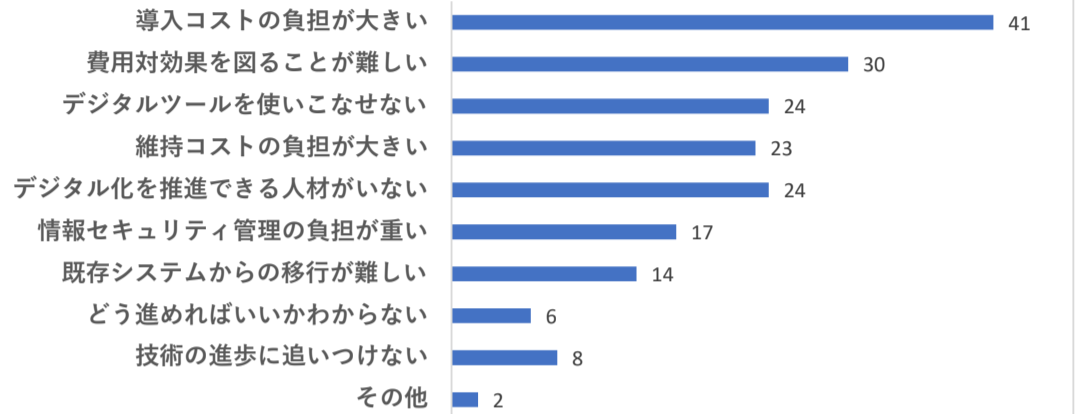
○デジタル化の業績の影響について



○デジタル化による成果について



○デジタル化の課題について



○「業務の効率化・標準化」の回答が多数。

デジタル化による成果について、「業務の効率化」が50件、「業務の標準化」が29件の回答がありました。また、デジタル化の課題については、「導入コストの負担が大きい」が最も多い41件、「費用対効果を図ることが難しい」が30件の回答がありました。

～日本政策金融公庫総合研究所による調査の結果参照～

- デジタル化に取り組んでいる企業に、デジタルツールの導入状況を尋ねたところ、「ホームページ、SNS」（88.5%）、「会計システム」（86.9%）、「Web会議システム」（68.3%）、「販売管理システム」（62.1%）、「勤怠・労務管理システム」（58.4%）を導入している割合が高かった（図-3）。
- 「ECサイト」「物流管理システム」「RPA（業務自動化）」「AI（人工知能）」については、導入しておらず導入予定もない割合が過半を占めている。

図-3 デジタルツールの導入状況

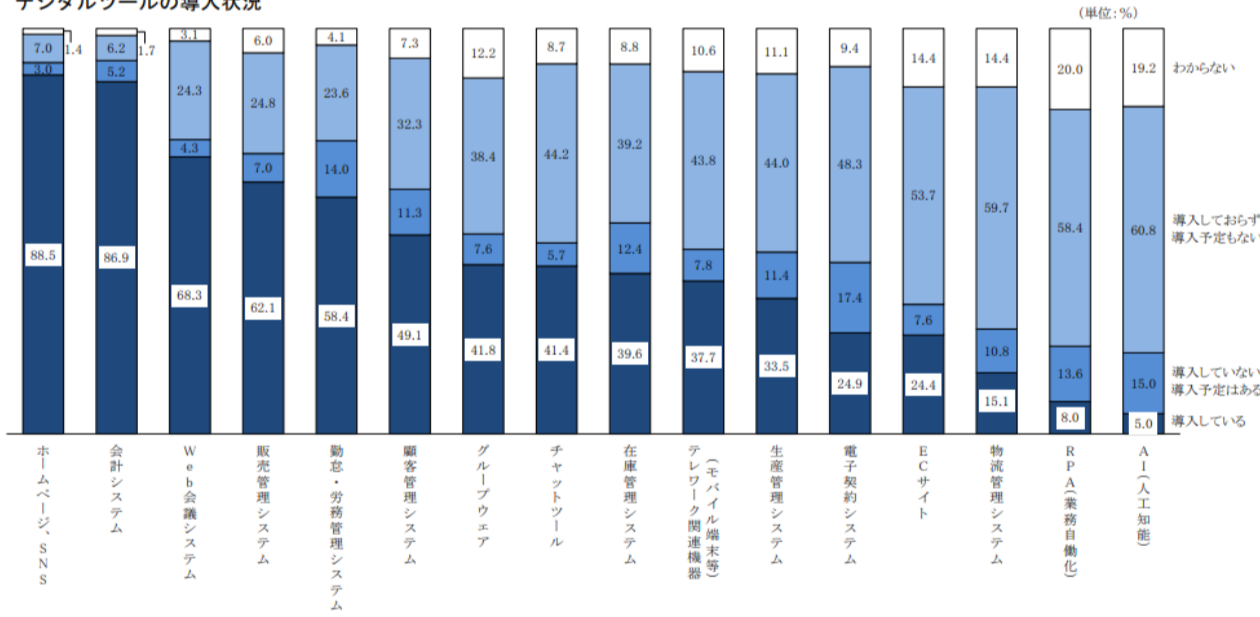


図-4 デジタルツールの導入による業績全体へのプラスの影響（従業員規模別・業種別）

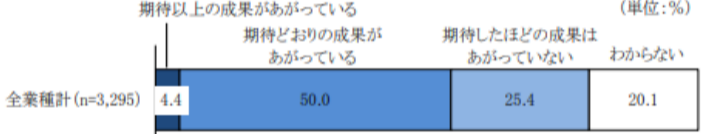
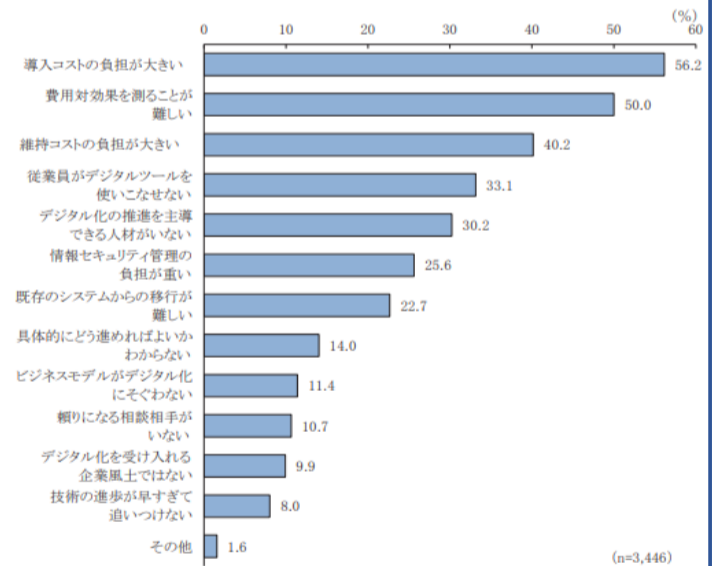


図-7 デジタル化の課題（複数回答）



○経営上の問題について（企業の生の声）

カテゴリー	企業の生の声（一部抜粋）	業種
人材関係	どこも同じ人材不足。ハローワーク募集も面接者もない。ハローワーク募集要綱が厳格で型にはまり会社アピールができない。もう少し柔軟性を持ってもらいたい	建設業
	人材不足で経営者である自身がプレイングマネージャー化としてしまい、中長期的な計画の策定や問題点の抽出、改善に時間を充てるのが難しく非常にストレスを感じている。（行き当たりばったり経営で、ばったり倒れては本末転倒の恐れ）	建設業
	求人を常時募集しているが、ほとんど希望者が来ない。人員不足が深刻化している。	建設業
	仕事の依頼があっても人材不足のため、受注困難である。	建設業
	業務の効率化、出来る人財の確保、育成	小売業
労働関係	時間外労働規制への対応	建設業
	最低賃金の上昇率と価格転嫁の割合が伴っていない。このような状況が毎年続くのであれば、中小企業はどんどん疲弊し衰退していく。	サービス業
	賃上げ、物価高騰など企業の負担が大きい	小売業
その他	仕入の高騰化で負担がある	サービス業
	インバウンド対応が遅れている	小売業
	新規開拓にあたり情報や新規開拓を行った方のお話を聞く場があってほしいと考えています。	製造業
	原材料の高騰については、価格転換で対応している。人材不足については、ハローワークのイベントや学校訪問などトライしている。しかし、問題解決に直結しているとは思えない。	製造業